Microsoft Security Essentials における除外設定の方法(Windows7)

1. 「スタート」 → 「Microsoft Security Essentials」の順にクリックします。



Microsoft Security Essentials」が表示されます。
 「設定」タブをクリックします。

| Microsoft Security Essentials | |
|---|--|
| PC の状態: 保護 | |
| ホーム 更新 風歴 設定 | حالہ ? |
| ご シリアルタイム保護: 有効 ・ ウイルスおよびスパイウェアの定義: 接続に失敗しました | スキャンのオプション: ● クイック(Q) ● フル(E) ● カスタム(C) ● 今すぐスキャン(S) |
| スキャンの詳細 スケジュールされたスキャン:日曜日、2:00時頃(クイックスキャン) スキャンのス 最後に実行したスキャン:スケジュールされたスキャンは実行されていません | ケジュールを変更する |

- 3. 設定画面で以下のフォルダを除外設定します
 - クレアコンポⅡの場合
 C:¥Users¥(ログインしているユーザー名)¥AppData¥Local¥Apps¥2.0
 ※親機(サーバー)の場合以下のフォルダーの設定も必要
 C:¥inetpub¥Intranet
 - 2) クレアコンポ、XiFormMagic の場合

$C{:} {\tt {\tt {\tt F}CREACOMPO}}$

【設定方法】

①左のメニューで「除外されたファイルと場所」を選択し、「参照」をクリック

| 🚠 Microsoft Security Essentials | | <u> </u> |
|---|--|---------------------------------|
| PC の状態: 保護 | | |
| Microsoft Security Essentials PC の状態:保護 木ーム 更新 層歴 スケジュールされたスキャン 既定の操作 リアルタイム保護 除外されたファイルと場所 除外されたプロセス 詳細設定 MAPS | 設定 特定のファイルおよび場所を除外すると、スキャンを高速化することはできますが、 ユーターの保護レベルが下がる可能性があります。 複数のファイルまたは場所を追加するには、セミコロンでエントリを区切ってテキス クスに入力してください。 ファイルの場所: | 3 ヘルプ ▼ コンピ Kト ポッ 際(B) |
| | 名前 | 第(<u>R</u>) 第(<u>R</u>) |

②表示されたフォルダー選択画面から上記フォルダーを選択し、「OK」をクリック

| Microsoft Security Essentials | × |
|---|-------------------|
| 除外するファイルまたは場所を選択してください: | |
| ● ● ローカル ディスク (C:) ● ● \$Recycle.Bin ● ● 8244c33162fdef732166df | Ē |
| CREACOMPOIL inetpub PerfLogs | |
| Program Files | - |
| OK(<u>O</u>) | キャンセル(<u>C</u>) |

※フォルダが表示されない場合、下記URLで紹介されている手順に従って、設定を変更してください。 https://support.microsoft.com/ja-jp/help/14201/windows-show-hidden-files ③「追加」をクリックすると下の「名前」欄に選択したフォルダーが移ります。

| 🚠 Microsoft S | ecurity Essentials | | | |
|---|---|---|--|--|
| PC の状態: | :保護 | | | |
| т -д | 更新 | 設定 | | ? へルプ → |
| スケジュ 既定の操 リアルタ 除外され 除外され 詳細設定 MAPS | ールされたスキャン 作 イム保護 たファイルと場所 たファイルの種類 たプロセス | 特定のファイルおよび ューターの保護レベル 複数のファイルまたは クスに入力してくださ ファイルの場所: C:¥Users¥・・・・・¥Ap | び場所を除外すると、スキャンを高速化することはでき しが下がる可能性があります。 は場所を追加するには、セミコロンでエントリを区切 さい。 ppData¥Local¥Apps¥2.0; | きますが、コンピ ってテキスト ボッ 参照(B) 追加(A) 削除(R) |
| ユーターの保護レベルが下がる可能性があります。 複数のファイルまたは場所を追加するには、セミコロンでエントリを区切ってテキスト ボッ クスに入力してください。 | | | | |
| 12.54 | ファイルの場所: 名前 C:¥Users¥····· | •¥AppData¥Local | ¥Apps¥2.0 | 参照(<u>B</u>) 追加(<u>A</u>) 削除(<u>R</u>) |

④「変更の保存」をクリックし設定を保存したら、ウィンドウを閉じます。

| Microsoft Security Essentials | | - D X |
|---|---|-------------------------|
| PC の状態: 保護 | | |
| ホーム 更新 尾歴 | 設定 | ? ヘルプ ▼ |
| スケジュールされたスキャン 既定の操作 リアルタイム保護 除外されたファイルと場所 除外されたファイルの種類 除外されたプロセス | 特定のファイルおよび場所を除外すると、スキャンを高速化することは ユーターの保護レベルが下がる可能性があります。 複数のファイルまたは場所を追加するには、セミコロンでエントリを区 クスに入力してください。 ファイルの場所: | できますが、コンピ 切ってテキスト ボッ |
| 詳細設定 MAPS | | ◆照(<u>B</u>) |
| | | · 追加(<u>A</u>) |
| | 名前 CYVI koreXXAppDataXI.ocalXAppeX2.0 | 削除(<u>R</u>) |
| | C.+OSEIS+·····+AppData+Local+AppS+2.0 | ≠ヤンセル(<u>C</u>) |